

兒童労働の問題は近世の社會問題の中、最も攻究改良を要することの一つである。我國に於ても近頃工場法の草案が出まして漸次此の問題の改良が與へられようとして居る。併し、教育との關係及び其工場の衛生問題等、速に解決を要する問題は尙ほ他に多くあります。又それと關聯して、職業的技術教育の問題も亦大に研究を必要とします。

第十一部道德及宗教教育に關する問題の調査兒童の道德性及宗教性の研究と共に、之れに對する實際上の諸問題、また道德教育と宗教教育との關係、また新らしき問題としては性慾教育に關する攻究等、此の部の司る處です。

第十二部教育博物館 完全なる教育博物館が伴はざれば、學校も實驗室も魂のぬけ殻の如きものだと言はれて居ます。殊に茲に於て土曜講演の如きものが屢々開かれて、實物供覧により教師の教育が行はれるのです。

以上、十二部門は未だ委く完備した譯ではないや

うですが、兒童を中心とせる問題の、斯くも多方面に涉つて盡されんとしつゝあることは海のこなたからも大に賀さねばならぬこととあります。

### ○タンネル氏の「保育上の

#### 三注意」

タンネル氏が去年十月の「幼稚園評論」誌上で、保育に關する三つの問題に注意をひいて居ます。其の第一は幼稚園に於ける衛生の注意である。氏の言ふ處を項を分けて見れば

(一) 幼兒の體質は成人と違ふて、有害なる微菌を殺すべき殺菌力に大に缺けて居る。即ち各種の小兒傳染病が多く且つ最危險な譯である。併し、左様の諸傳染病が、小兒には一度は必ず免れ難いものであると、信じあきらめて誰れも疑はぬといふのは、昔からの迷信である。醫學の進歩と衛生の發達は、かゝる誤れる考へを全然破棄し去るべきものである。

(二) 第一には保育室の衛生設備を完くすること各幼児銘々に茶碗手拭等の所用品を區別すべきこと、一體に小學校以上の學校に行はるゝ學校衛生的の注意が特に幼稚園に必要である。

(三) 保姆は幼児のかゝり易き普通の病氣に就て一通りの醫學的智識が必要である。殊に傳染性の病氣の症候を心得て居なければならぬ。其の爲には此種の講演を聴くことゝ、若し出來るならば實際小兒病院を訪ふて臨床的知識を得ることが最も有益である。

(四) かゝる衛生上の注意と密接に聯關して離れざることは、幼児に對する戸外の價値である。幼兒は前述の如く、最も傳染病に感染し易いものであるから、成人よりも殊に新鮮な空氣の必要がある。近頃流行の戸外學校の如く、寧ろそれ以上に戸外幼稚園を認めなければならぬ。

次にタンネル氏は第二の問題として、幼兒の性慾教育に關する注意を述べて居ます。即ち幼兒から

「自分は何處から生れたか」といふ類の質問が、出た時、保姆は如何に答ふべきかといふ研究です。勿論すべて子どもの質問に對しては、眞なるが故に適當の答へだといふことは出來ませんが、又その反對の、まるで出たらめの一時ごまかしは最もよろしくない。此種の問ひに對しては殊にそうです。で、果して如何なる答へをすべきか、といふことは、一定する譯にもゆくまいし、タンネル氏もよき解決は與へて居ません。成るべくは母親をして其の答を與へしめるがよいといふのですが、總ての母親が其の解答者に適當とはいへない。此の問題に就ては充分行き届いた研究が要ると思ひますが、兎に角、吾々は、最も嚴肅なる態度を以て、かゝる質問にあわてない丈の用意は常に必要であります。

第三にタンネル氏の説いて居ることは、幼稚園に於ける玩具のことであります。即ち普通行はれて居る幼兒の想像に關する説、即ち幼兒は非常に想

像性に富んだものであるから、玩具はなるべく不完全な玩具程がいい。兒童の想像力で補はずべき餘地の澤山あるだけがいい、といふ説に對して、同意し難いと言ふのです。タンネル氏の考へでは幼兒期は想像の最も盛の時といふが、活潑なる想像といふものは豊富なる記憶を要することである。即ち先づ充分認識させる必要がある。殊に幼兒期は最認識力の強い時期であるから。此時に於て成るべく色々な實物を認識させる必要がある。そして、その認識したる實物になるべく類似した、形の完全した玩具（子ども用として形は勿論小さくとも）を與へて其の認識を助ける必要がある。假令ば農業や鍛冶工場の實際を見せて、鋤や鋏、鍛冶屋道具の類の小さい玩具を與へて、それを遊びに取り扱せて、實際の認識を明かにさせるがよいと言ふて居ます。鋤も鋏も皆棒切れで、鍛冶屋道具は皆瓦や石ころといふ遊び方は、折角子どもが、かゝる實物に就てよく知り得る機會を徒費す

るものだと言ふ意なのです。

扱て、此のタンネル氏の考へに關しては、學問上にも、又殊に保育の實際上に、色々議論のあることと思ふ。大に皆さんの御意見を伺ひ度ひと思ふのですが、併し、タンネル氏は、一つには幼稚園の保育用玩具が、餘りに單調過ぎるといふ様な處を見ての、反動的提言ではないかとも察せられます。若しそうであるとすれば、幼稚園の玩具殊に遊園に於て幼兒の使用して遊ぶ玩具が、餘りに棒切れ石ころ主義になり過ぎた場合の弊は、吾々も認めなければなりません。又一つには、タンネル氏の此の提言の本旨は、幼兒をして世上の種々の實物を直觀せしめるの必要を唱導せんとするにあるものとも解せられぬことはない。若しそうならば、幼兒に成るべく諸種の實物を觀察し得べき機會を與へ、勿論込み入つた説明などは不必要であるが、面白半分いろりの實際的知識を得させることも、上の組などでは極く必要と考へます。